

令和5年度第3回島田市男女共同参画推進委員会 会議要録

1 日時

令和6年3月4日（月）19：00～20：50

2 場所

島田市役所 大会議室西

3 出席者

委員：犬塚委員、松浦委員、丸尾委員、増田委員、太田委員、木村委員、橋本委員
事務局：又平課長、田中課長補佐、天草会計年度任用職員、杉本主事（市民協働課）

4 内容

(1)令和5年度男女共同参画推進事業報告について

A委員：性の多様性セミナーの参加者の男女比はどのようになっているか。

事務局：アンケートでは性別は聞いていないため、実数ではなく感覚になってしまいが、女性の方が多かったように見えた。

B委員：男女共同参画を推進するための統計情報として、講座のアンケートでは性別を聞いた方がいい。例えば、その他の選択肢を設けるなどして回答者に配慮したものを設定してもらえればと思う。

A委員：セミナーの参加人数が少ないのでは。内容はいいものだと思うので、もっと参加してもらえればいいと思う。

事務局：企業向けセミナーについて、委託事業者と協力して静岡県の男女共同参画社会づくり宣言事業所に呼びかけを行ったが、関心度が低くお断りされてしまったり、すでに取り組んでいるので不要と返答があったりといった現状だった。性の多様性セミナーについては、今回スポーツ選手が講師ということで、スポーツ団体等に呼びかけを行った。

B委員：スポーツとジェンダーは、難しい問題。なかなか意識が変わっていかない分野だと感じている。特に、部活動などの学生スポーツで必要となってくるため、学校向けに呼びかけや案内等していってもらえればいい。

C委員：性の多様性セミナーに興味があったが、開催日時が土曜日の午前ということで参加が難しかった。子育て世代に合わせた時間帯の設定や、オンラインとのハイブリッド開催なども検討してもらえたらありがたい。

事務局：今回、当初は土曜日の午後開催で予定していたが、講師との日程調整の中でやむを得ず午前中の開催となってしまった。今後はご意見等も踏まえ、

早めの日程調整と開催方法の検討もしていきたい。

(2)第4次島田市男女共同参画行動計画（案）について

【パブリック・コメントの実施について】

事務局：令和5年12月～令和6年1月にかけてパブリック・コメントを募集した。

22人から意見が提出され、「性の多様性」に関する部分に意見が多く寄せられた。意見については主な要点を8つに分類し、意見を紹介する（資料2-1のとおり）。男女共同参画や性の多様性について否定的な意見が多数寄せられたが、必要性についての市の考えを回答する予定で、これらの意見を踏まえて計画の内容を変更する予定はない。

D委員：22人から意見があったとのことだが、この資料2-1に全て含まれているということか。肯定的な意見はなかったのか。

事務局：主な意見をまとめ、抜粋して掲載している。ほとんどが否定的な意見ばかりだった。

E委員：否定的な考え方の意見をみると、かなり偏った考えを持っているように思う。

B委員：多くの意見は、2000年頃にあったジェンダーフリーへのバックラッシュのときに専門家たちが受けたバッシングと近い内容。未だにそういった考えを持った方々がいるというのは驚いている。要因として一つ考えられるのは、島田市の今年度の事業をみても性の多様性に関する事業がいくつかあり、この分野が突出して積極的に進められてきているように市民も感じている部分があるのでは。また、LGBT理解増進法が施行されたことなども相まってアクションにつながったのではないか。

A委員：これらの意見をみると、まだまだ男女共同参画への意識がかなり遅れているとも受け取れるのでは。意見を提出したのは、市内の方々が多いのか。

事務局：今回は、市外在住で利害関係等を持つ方が多い。

B委員：男女共同参画の計画で、これだけの意見があることは珍しい。ジェンダーフリーへのバックラッシュの頃と比べ、かなり法整備が進んできているので、事務局からの説明に合ったとおりこれらの反対意見に影響されず、きっちりと法律等に従って施策を推進していくべき。

C委員：8つ目の意見要点の中は、情報発信についてマイナスの意見ではなく提案かと思う。パブリック・コメント募集だけではなく、先ほど紹介のあったサイト「しまだぱれっと」について、もっと多くの人に知ってほしいと思うが、検索サイトで検索ができない状態かと思う。対策等考えているか。

事務局：今回、Google サイトという無料でページを作成できるサービスを利用し

ており、検索エンジンには直接引っかけられない仕様となっている。そのため、市公式ホームページから見てもらえるように工夫していきたい。また、直接ページを見てもらえるようチラシなど配付物を用意し、アクセス数を増やしていきたい。

【行動計画（案）について】

事務局：行動計画（案）について、1月～2月に庁内会議を開催し、最終案をまとめている。3月中に製本作業を進める予定。案については、パブリック・コメント募集時点で推進委員の皆様にも送付をし、内容に目を通していただいた部分もあると思うが、ご意見・ご質問あればお聞きしたい。

D委員：前回の会議で、計画の重点取組について検討する旨の話があったが、現在の案では記載がない。どのような取扱いになったのか。

事務局：前回会議で、一部分だけを重点取組とすることに違和感があるのご意見を受け、内部で検討した。特定の分野を重点取組とするのではなく、男女共同参画を推進していく上では一体的な取組が必要となるため、重点取組はなしとした。資料2-2の4ページの概念図で表したとおり、基本的施策4つが一つ欠けても基本目標が達成されないとの考え方にもつながるもの。

D委員：働き方改革の推進について、事業ヒアリングで人事課とやり取りもさせてもらったが、来年度はどのように時間外労働の削減に取り組んでいくのか。

事務局：詳しい取組内容は担当課である人事課でなければお答えしかねる。今年度のヒアリングでも回答した出退勤などの労務管理のシステムを活用することや、ノー残業デーの徹底などに引き続き取り組んでいくと思う。

E委員：入退庁は、セキュリティカードで管理されていると思うので、それと出退勤のシステムを関連付けられないのか。

事務局：現状、そのようなシステムにはなっていない。出退勤はパソコンでの操作で管理している。

F委員：資料2-2の21ページにある「女性が職業を持つことについて」というアンケートに違和感がある。今の時代、男性も育児や家事を担っているのに、女性のみこういった質問をするのはいかがか。

B委員：これは、意識調査として経年変化をみる必要があるため、以前から同様の設問を継続していると考えられる。ご意見いただいたような価値観の方が大多数を占めるようになれば、不要な設問かと思う。都道府県別のジェンダーギャップ指数というものが昨年あたりから公表されているが、静岡県は経済分野で最下位となっている。県民所得は全国でも高い水準にある中で、男女格差がそれだけ広がっているという現状。県民にそれほど危機感

が感じられないのも問題で、女性の就労についてはこれから重要な視点となってくると考えている。

F 委員：先ほどのパブリック・コメントの話でもあったが、ジェンダー問題と性の多様性の問題について、市民に向けて関連性を説明するためにはどうしたらいいのか。

B 委員：なかなか真意が伝わりにくいものだと思う。性の多様性の問題は、直接ジェンダーとは結びつかないかに見えるが、性別に関わる人権問題ということで共通している。男女が平等にならなければ、LGBT に関する問題もクリアできない。近年は、「多様性」「ダイバーシティ」ということで国籍や人種、障害などさまざまな多様性を一緒に語ることが増えてきたが、男女共同参画で取り組むものは、性別に関わるジェンダーの問題や性の多様性の問題であるということをはっきり説明する必要がある。

B 委員：資料 2-2 の 17 ページで、LGBT などという記載があると思う。最近は、LGBTQ といった表現が主流かと思うが、どうか。

事務局：市民意識調査の設問の記載と併せて、LGBT としている。また「など」をつけることでLGBTで示しているもの以外も含まれる意味を持たせている。

B 委員：説明は分かるが、LGBT など性的マイノリティに限定した話ではなく、すべての人が当事者であるという SOGI の考え方を盛り込んで説明した方がふさわしいのではないか。また検討していただければと思う。この場でだけではなかなかチェックしきれない部分もあると思うので、後日気になる点があれば、事務局へ伝えてほしい。

事務局：3月末までに製本していきいたため、ご意見等あれば早めにいただけるとありがたい。

(3)その他
特になし。

5 閉会